

会 議 録

1 会議名

平成29年度第1回上越市文化財調査審議会

2 議題等

【報告・議事】

- (1) 報告 平成29年度事業内容について（公開）
- (2) 議事 今後の文化財指定等について（非公開）

3 開催日時

平成29年8月30日（水）午前10時から11時30分

4 開催場所

高田図書館第2会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

上越市審議会等の会議の公開に関する条例（平成16年条例第1号）第7条第2号及び第4号、第5号に該当するため。

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委 員：川村委員（委員長）、中戸委員（副委員長）秋山委員、浅倉委員、上原委員、松田委員、
- ・事 務 局：中西文化行政課長、布施副課長、新保上席学芸員、伊藤係長、草間主任学芸員、
今井学芸員

8 発言の内容（要旨）

【報告】

(1) 平成28年度事業内容について（公開）

○春日山城跡災害復旧工事について

(事務局)

- ・資料1「春日山城跡災害復旧現場の見学会」資料をもとに説明。

(浅倉委員)

- ・降雪前までの工事完了となるか。

(中戸副委員長)

- ・7月の大雨で水穴が確認されたということだが、その対処について確認したい。

(事務局)

- ・災害復旧の検討委員（土木・地質・災害復興科学の有識者）からの指導を受け、地下水を抜く工事、表面排水路の追加等により一部計画変更し、降雪前の完了を目指して進めている。

10月に、川村委員長をコーディネーターとして、今回の災害及び今後の春日山について話し合う講演会を開催する予定。

(川村委員長)

- ・住民理解が大切。多くの目で春日山を見ることが大切。

(中戸副委員長)

- ・文化財の維持・管理のためには地元の協力が大切。春日山についても、多くの人に情報を知ってもらう試みが大切。

(松田委員)

- ・地下水を抜くと、山頂の井戸に影響はないのか。

(事務局)

- ・山頂の井戸は、周囲の山からの礫層を伝い集まったものと考えるのが妥当。今回は、水を抜くというよりも溜めないための工事なので、井戸については問題ない。

(川村委員長)

- ・7月の現地指導の折、検討委員（土木・地質・災害復興科学の有識者）から、話を聞いた。そういった分野の話についても、文化財の専門家の集まりで聞く機会があってもよいと思う。
- ・植生については、五百川委員が2～3年で一面緑になるとのことだった。

(中戸副委員長)

- ・大正初年の100年前の景観に戻す整備を進めてきたと聞いているが、ソメイヨシノはどうしていくのか。

(川村委員長)

- ・昨今は史跡とソメイヨシノの関係が全国的に問題となっている。
- ・愛護団体とも折り合いをつけながら、史跡保護の必要性を理解してもらう努力が必要。
- ・高田城についても同様の問題があると思うが、高田公園を管理する都市整備課等と考え方の共通理解を図っていく必要がある。

(事務局)

- ・春日山城跡災害復旧の事業内容について、資料1の各事業資料をもとに説明。

(2) 議事 今後の文化財指定等について (非公開)

9 問合せ先

文化行政課・文化財係 TEL : 025-545-9269 (内線 616-1242)

E-mail : bunkagyousei@city.joetsu.lg.jp

10 その他

当日資料も併せてご覧ください。